



ふくろう

花・学連携だより

令和2年5月

博物館職員紹介

館長	高橋信雄
副館長	晴山弘之
管理係長	滝浦博之
主任技能主査	堀田圭二
職員	長沢比呂子
職員	佐々木毅
職員	阿部良子
職員	長南美智子
職員	吉田真由美
学芸係長	小原伸博
学芸員	岡本雅子
学芸員	小田桐睦弥
学芸員	高橋静歩
学芸員	小田島智恵
学芸調査員	松橋香澄
社会教育指導員	鎌田省三

緊急事態宣言が解除され、6月1日から花巻市博物館が開館できることとなりました。今年度も花巻市内の児童・生徒の学習に役立つことができるように頑張ってお参りたいと思います。

前号で簡単に紹介したように、花巻市博物館は考古や歴史、美術・工芸を中心とした博物館です。社会科学の学習や、総合的な学習の時間の内容等で調べたいことや学芸員に尋ねてみたいことがありましたら、気軽に相談ください。

博物館の展示予定が変わります

閉館期間があったことに伴い、今年度の展示予定が変わってきます。

現時点で、次の二つの展示が中止となりましたのでお知らせをします。

今年度中止となった展示

特別展「肉筆浮世絵の世界」

テーマ展「鉄道と花巻」

企画展「東北災害一件綴」

以上の三つの展示が中止となります。また、「鉄道と花巻」の展示を行わないことに関して、出前授業「鉄道と花巻」が今年度出前授業プログラムから外されますので、御了承ください。今年度展示中止となった三つの展示は、これからの新型コロナウイルス感染拡大状況によっても変わってきますが、現時点では令和3年度に行う予定です。

その他、新型コロナウイルス感染拡大に関して、今年度の博物館主催で開催予定のワークショップ（勾玉づくり、琥珀玉づくり、縄文弓矢・火おこし体験、花巻人形絵付け体験）及び、ギャラリートークと館長講座はすべて中止となりましたのでお知らせします。

今年度開催予定の展示

テーマ展示「花巻の煌めく人と物」

共同企画展「小野寺周徳－花巻画人の先駆的存在－」

テーマ展「花巻人形」

以上の三つの展示は、今年度開催予定です。展示期間については、現時点ではっきりしていませんので、確定次第お知らせします。6月3日開催予定の令和2年度博・学連携推進研修会ではお伝えできると思います。

**博物館に来られないこんな時だから
授業で使える博物館常設展示の紹介**

縄文時代の道具①



縄文土器（久田野Ⅱ遺跡）



平底の土器（花巻市上台Ⅰ遺跡）

縄目のつけ方



縄文土器

縄目模様のついたものや、縄目模様のつかないものなど、今から約1万5000年前から約2300年前の縄文時代に作られた「土の器」です。

これらの土器は、おもに煮炊きや食べ物の貯蔵に使われていたようです。

花巻市内にある上台（うわだい）Ⅰ遺跡からは、縄文時代の特に古い時期（約9600年前）に作られた底が平らで非常にうすく、縄目模様のない土器が見つかっています。

縄文時代の道具②



矢じり（石ぞく）



槍先（尖頭器）

せき やりさき せんとうき
矢じり（石ぞく）・槍先（尖頭器）

縄文人にとって、狩猟は生きるためのおもな仕事でした。

飛び道具である弓矢は、中小動物を狩るための大切な道具だったと考えられています。

コピーをして授業で使っていただいて構いません